

2 学校経営の基本理念（本村の教育理念 ～「15の春」実現のために～）
ふるさと諸塚に誇りをもち、夢や目標に向かって努力し、たくましく生きる児童の育成をめざす

3 学校経営の基本方針

（1）学校の教育目標

「ふるさとを愛し、自ら学び、たくましく生きる児童の育成」

- ふるさと諸塚に誇りをもち、地域に貢献しようとする児童の育成
- 主体的、対話的に学ぶ児童の育成
- 夢や目標に向かって、粘り強く努力を続ける児童の育成

（2）学校の教育目標の具現化のために

- 日々の授業や常時指導を通し、人とのかかわりについて考える機会を設けながら、児童一人一人の自己肯定感を高める。
- 相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをきちんと伝えるスキルや習慣（アサーティブネス）を身に付ける。
- 「かかわり」と「見守り」「見届け」を徹底し、知・徳・体の調和のとれた生きる力を育てる。
- 誰もが「わかる・できる」を実感する授業づくりに全学級で取り組む。
- 理解が不十分な内容は授業以外の時間を活用し、「わかる・できる」まで教える。

（3）児童・職員共通のスローガン

「主体的・対話的に学び、成長し続ける諸塚小学校」

- 「学び」について

「学び」その① … 「主体的に取り組み、失敗を恐れずチャレンジする」
「学び」その② … 「新しい知識とスキルをしっかりと身に付ける」
「学び」その③ … 「身に付けた知識やスキルを進んで活用する」

-

「成長」その① … 「分からなかったこと（できなかったこと）が少しでも分かる（できる）」
「成長」その② … 「もっと学びたいという意欲をもって自ら取り組む」

（4）学校、家庭、地域がそれぞれの役割を果たし、手に手を取って進める教育

〔学校〕 めざす学校像「生き生きと活気のある学校」「信頼と協調に満ちた学校」「美しく整備された学校」の具現化に向け、児童や保護者、地域の声、学校評価の結果等を真摯に受けとめ、学校運営の改善に努める。

〔家庭〕 「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣付け

- 基本的な生活習慣の定着
- 家庭学習一覧表や読み声のチェック、家読の勧め
- テレビやゲーム、インターネット等に振り回されないような目配せ

〔地域〕 日常的な声掛け

- ・ 褒めて育てる（自分らしさが発揮できている、周囲の役に立っているという実感をもたせる）。
- ・ 叱って気付かせる（命の尊さ、思いやりの心、社会のルール、自分を支えてくれている周囲の方への感謝の気持ちを育む）。

日常的な学校へのかかわり

- ・ いつでも学校に来てもらい、児童や職員のがんばる姿を見ていただく。
- ・ 学習サポーターやゲストティーチャーとして力を貸していただく。
- ・ 話合いやレクレーション、お稽古事などの会場として学校を活用いただく。

